

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月13日

上場会社名 株式会社 エフテック  
 コード番号 7212 URL <http://www.ftech.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 嗣夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 梅津 啓二  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

上場取引所 東

TEL 0480-85-5211

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	81,201	—	4,265	—	3,773	—	1,410	—
20年3月期第2四半期	79,678	11.5	4,064	9.3	3,779	22.1	1,876	19.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	114.19	104.71
20年3月期第2四半期	151.83	138.98

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第2四半期	99,134	1,429.73	28,463	1,429.73	18.6	1,429.73
20年3月期	94,850	1,438.01	27,399	1,438.01	18.7	1,438.01

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 18,444百万円 20年3月期 17,768百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					年間
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	34.00	—	34.00
21年3月期	—	10.00	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	—	20.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	154,500	△3.1	5,400	△37.8	4,700	△36.7	2,000	△51.8	161.87

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社(社名 エフテックアールアンドディフィリピン・インコーポレーテッド) 除外 1社(社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	12,390,000株	20年3月期	12,390,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	34,051株	20年3月期	34,051株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	12,355,949株	20年3月期第2四半期	12,357,790株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年4月25日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結結果計期間の業績は、売上高81,201百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益4,265百万円（前年同期比5.0%増）、経常利益3,773百万円（前年同期比0.1%減）、当四半期純利益1,410百万円（前年同期比24.8%減）となりました。

所在地別セグメントの状況は下記の通りであります。

国内は、昨年、子会社化した株式会社リテラの売上が加わり売上高31,441百万円（前年同期比12.9%増）となりましたが、営業利益は、鉄スクラップ価格の高騰による収入増はあるものの、販売機種構成変化による収益減と補助材料等購入品並びに操業費の高騰により△270百万円（前年同期比120.0%減）となりました。

北米は、販売は好調に推移したものの円高の影響により売上高39,318百万円（前年同期比5.1%減）となりましたが、営業利益は、金型等の販売と鉄スクラップ価格の高騰により3,392百万円（前年同期比69.9%増）となりました。

アジアは、販売が好調に推移し売上高は10,441百万円（前年同期比0.3%増）となりましたが、営業利益はエフテック・マニュファクチャリング（タイランド）リミテッドの創業費等もあり、1,221百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産等の状況

当第2四半期末における財政状態は、前連結会計年度末と比べ、総資産は4,284百万円増加し99,134百万円となりました。

純資産は1,063百万円増加し28,463百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の18.7%から18.6%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より161百万円増加し、4,204百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

これは主に税金等調整前四半期純利益が3,650百万円、減価償却費が4,215百万円、たな卸資産の減少で414百万円資金が増加し、売上債務の増加により1,608百万円、法人税等の支払で1,153百万円資金が減少した結果、営業活動で得られた資金は5,647百万円となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

これは主に有形固定資産を8,189百万円取得した結果、投資活動により使用した資金は8,168百万円となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

これは主に借入金の調達により3,287百万円資金が増加しましたが、配当金を723百万円支払した結果、財務活動で得られた資金は2,568百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当グループを取り巻く経営環境は、米国発の金融危機の影響による世界経済の急激な減速、円高による影響、鉄鉱石価格の高騰及び鉄スクラップ価格の急激な下落による製造原価の増加を主因に売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想を下回る見込みとなり、通期の連結業績予想を修正しております。

なお、平成20年4月25日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

(通期連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	161,000	7,800	7,000	3,500	283.26
今回発表予想(B)	154,500	5,400	4,700	2,000	161.87
増減額(B-A)	△6,500	△2,400	△2,300	△1,500	—
増減率	△4.0%	△30.8%	△32.9%	△42.9%	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	159,425	8,686	7,426	4,151	335.97

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (エフテックアールアンドディフィリピン・インコーポレーテッド)

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### ① 棚卸資産の評価方法

一部の連結子会社における棚卸資産の簿価の切り下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、簿価の切り下げを行う方法によっております。

###### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定において、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

###### ③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合は、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

###### ④ 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

###### ② たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる、営業利益、経常利益に与える影響は軽微であります。また、税金等調整前四半期純利益は73百万円減少しております。また、セグメント情報に与える影響は軽微であります。

###### ③ リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間から、これらの会計基準等を適用し、重要性の乏しいリース資産を除き、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、セグメント情報に与える影響は軽微であります。

なお、平成20年3月31日以前に取引を開始した所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

④「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありませんが、四半期純利益は47百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,210	4,082
受取手形及び売掛金	18,618	16,863
商品及び製品	2,826	3,153
仕掛品	3,233	2,974
原材料及び貯蔵品	5,414	5,663
その他	3,308	3,197
流動資産合計	37,610	35,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,321	17,261
機械装置及び運搬具(純額)	23,798	21,833
その他(純額)	14,134	14,396
有形固定資産合計	56,254	53,491
無形固定資産	571	560
投資その他の資産		
投資有価証券	1,995	2,047
その他	2,789	2,902
貸倒引当金	△88	△88
投資その他の資産合計	4,696	4,861
固定資産合計	61,523	58,914
資産合計	99,134	94,850

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係 る要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,583	16,335
短期借入金	16,280	15,562
1年内返済予定長期借入金	4,718	4,871
未払法人税等	1,024	210
役員賞与引当金	46	134
その他	9,695	8,552
流動負債合計	48,348	45,666
固定負債		
社債	6,459	8,695
長期借入金	13,510	10,805
退職給付引当金	1,308	1,289
役員退職慰労引当金	210	209
その他	833	784
固定負債合計	22,322	21,783
負債合計	70,671	67,450
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,677	2,677
資本剰余金	3,115	3,115
利益剰余金	13,345	12,557
自己株式	△20	△20
株主資本合計	19,116	18,329
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	270	293
為替換算調整勘定	△943	△854
評価・換算差額等合計	△672	△561
少数株主持分	10,019	9,631
純資産合計	28,463	27,399
負債純資産合計	99,134	94,850

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	81,201
売上原価	70,890
売上総利益	10,311
販売費及び一般管理費	6,045
営業利益	4,265
営業外収益	
受取利息	30
受取配当金	21
為替差益	72
その他	133
営業外収益計	259
営業外費用	
支払利息	662
持分法による投資損失	4
その他	84
営業外費用計	751
経常利益	3,773
特別利益	
固定資産売却益	2
投資有価証券売却益	1
特別利益計	3
特別損失	
固定資産売却損	2
固定資産除却損	51
たな卸資産評価損	73
特別損失計	126
税金等調整前四半期純利益	3,650
法人税等	1,354
少数株主利益	885
四半期純利益	1,410

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,650
減価償却費	4,215
売上債権の増減額	△1,608
たな卸資産の増減額	414
仕入債務の増減額	64
その他	644
小計	7,381
法人税等の支払額	△1,153
その他	△581
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,647
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△8,189
その他	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,168
財務活動によるキャッシュ・フロー	
借入金及び社債の増減額	3,287
配当金の支払額	△723
その他	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,568
現金及び現金同等物に係る換算差額	114
現金及び現金同等物の増減額	161
現金及び現金同等物の期首残高	4,043
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,204

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

当連結グループはシャーシ部品等の自動車機能部品の製造販売を主事業としている専門メーカーであり、「自動車部品関連事業」の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	国内 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	31,441	39,318	10,441	81,201	—	81,201
(2) セグメント間の内部売上高	4,451	363	871	5,685	(5,685)	—
計	35,892	39,681	11,312	86,887	(5,685)	81,201
営業利益	(270)	3,392	1,221	4,343	(77)	4,265

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米……米国、カナダ、メキシコ
- (2) アジア……フィリピン、中国、タイ

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	北米	欧州	アジア	計
I 海外売上高 (百万円)	39,318	409	11,077	50,805
II 連結売上高 (百万円)	—	—	—	81,201
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	48.4	0.5	13.6	62.6

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米……米国、カナダ、メキシコ
- (2) 欧州……英国
- (3) アジア……フィリピン、中国、タイ

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期にかかる財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		
	金額 (百万円)		百分比 (%)
I 売上高		79,678	100.0
II 売上原価		69,700	87.5
売上総利益		9,978	12.5
III 販売費及び一般管理費		5,913	7.4
営業利益		4,064	5.1
IV 営業外収益			
1. 受取利息	38		
2. 受取配当金	20		
3. 持分法による投資利益	92		
4. 為替差益	119		
5. その他の営業外収益	49	319	0.4
V 営業外費用			
1. 支払利息	566		
2. その他の営業外費用	38	605	0.7
経常利益		3,779	4.8
VI 特別利益			
1. 固定資産売却益	10		
2. 持分変動利益	104	115	0.1
VII 特別損失			
1. 固定資産売却損	0		
2. 固定資産除却損	89		
3. その他の特別損失	0	89	0.1
税金等調整前中間 (当期) 純利益		3,804	4.8
法人税、住民税及び 事業税	1,364		
法人税等調整額	△55	1,309	1.6
少数株主利益		618	0.8
中間(当期) 純利益		1,876	2.4

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間 (当期) 純利益	3,804
減価償却費	3,436
のれん償却額	0
持分法による投資利益	△92
持分変動利益	△104
貸倒引当金の増減額	△3
退職給付引当金の増減額	82
役員退職慰労引当金の増減額	△34
役員賞与引当金の増減額	△55
受取利息及び受取配当金	△58
支払利息	566
社債発行費	25
為替差損益	△11
有形固定資産売却損益	△10
有形固定資産除却損	89
売上債権の増減額	2,106
たな卸資産の増減額	△425
その他の流動資産の増減額	△988
仕入債務の増減額	△1,277
未払費用の増減額	173
その他の流動負債の増減額	71
小計	7,295
利息及び配当金の受取額	55
利息の支払額	△585
法人税等の支払額	△1,871
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,894
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△8,446
有形固定資産の売却による収入	14
無形固定資産の取得による支出	△45
投資有価証券の取得による支出	△12
その他	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,490
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額	3,811
長期借入れによる収入	2,600
長期借入金の返済による支出	△2,606
社債の発行による収入	2,447
社債の償還による支出	△2,358
少数株主からの払込みによる収入	985
親会社による配当金の支払額	△309
少数株主への配当金の支払額	△230
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,339
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	209
<b>V 現金及び現金同等物の増減額</b>	951
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	4,760
<b>VII 現金及び現金同等物の中間期末 (期末) 残高</b>	5,712

(3) セグメント情報

【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

	国内 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	27,842	41,425	10,410	79,678	—	79,678
(2)セグメント間の内部売上高	7,122	491	996	8,610	(8,610)	—
計	34,964	41,916	11,407	88,288	(8,610)	79,678
営業費用	33,609	39,920	9,992	83,522	(7,908)	75,614
営業利益	1,354	1,996	1,415	4,766	(701)	4,064

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米……米国、カナダ、メキシコ
- (2) アジア……フィリピン、中国

【海外売上】

当中間連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

	北米	欧州	アジア	計
I 海外売上高（百万円）	41,447	452	11,058	52,958
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	79,678
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	52.0	0.6	13.9	66.5

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米……米国、カナダ、メキシコ
- (2) 欧州……英国
- (3) アジア……フィリピン、中国